



# 5月 保育室 すまいるだより

2021.5.7 NO.4  
保育室 すまいる

## <月のテーマ：みつけたよ>

### 年齢別 月の保育のねらい

#### <1歳児>

- 自然の中で花や虫を見つけ、保育者に伝えようとする。
- 自分の思いを自分らしく表現する。

#### <3歳児>

- 簡単なルールのある遊びやごっこ遊びを通して友だちとのかかわりを楽しむ。
- 落ち着ける場所や好きな遊びを見つけ遊ぶ

#### <4歳児>

- 友だちや保育者と関わり遊ぶ中で自分の気持ちを相手に表現する。
- いろいろなことに興味や関心を持って遊ぶ。

#### <5歳児>

- 遊びの中で予測をしたり試したりする。
- 遊びや活動を通して友だちの気持ちや考えに気づく。

#### <学童>

- 保育室での生活リズムを作り、自分で時間を使うことができるようになる。
  - ・保育室に来る → 宿題をする → おやつを（作る）食べる → 遊ぶ
  - 片付ける → お迎えが来て帰る

#### <5月の歌>

こたりのうた



### <おいしいよ！>



学童の Rくんが、帰り道に採ってきたヨモギが始まりです。「ヨモギでお団子作ろう！僕がするから…」と学校から帰るなり宣言し、団子を作ることになりました。お茶会をするようになってから和菓子が好きになった子どもたち、道明寺は、桜の葉がくっついてるのが嫌な子もいて、葉をとって食べていました。果たして、ヨモギ団子はどのような反応があるか楽しみでした。

ヨモギを茹でて、Rくんがすり鉢で擦り始めると、入れ替わり立ち代わり、「なにしてるの？」とみんな覗きにやってきました。「ヨモギ団子をつくるんだ。ぼくがヨモギをすっているんだよ。これ、すり鉢っていうんだよ」とうれしそうに答えるRくん。みんなは、Rくんがしていることをじーっと見ていました。すり終わったヨモギを団子粉を使って団子にしました。「ヨモギ嫌だ！」の子もいるかもしれないので、ヨモギを混ぜない団子も作りました。きな粉とみたらしの二種類の絡め物を選んで食べました。きれいな薄緑に出来上がったヨモギ団子、Rくんが作ったこともあり、みんなすごい勢いで食べました。「ヨモギ団子、おいしい！」「Rくんが作ったお団子おいしいね」と絶賛でした。それから、外に出かけると、「これ、よもぎ？」「これ食べられる？」と食べられる植物に興味を持って歩くようになりました。ヨモギはもちろん、はこべ、タンポポの葉を採ってきててんぷらにして食べたり、はこべはおひたしにして食べたり、ふきは、筋をとってきやらぶきにして食べました。野菜嫌いの Yくん、Hくん、も、「美味しい」と食べているのには驚きました。自分たちで収穫して食べるものは、やはり特別なんです。これからも食材を探しながら、楽しみたいと思います。

